

決算特別委員会から

審査日程：10月9日、10月27日～11月6日

平成27年9月定例会において設置された決算特別委員会では、議会の監視機能を発揮し、審査結果を平成28年度予算に反映させるため、9日間の審査日を設け、付託された平成26年度福岡県一般会計決算など20件の議案について、集中審査方式により慎重に審査を行いました。

審査に当たっては、二元代表制の趣旨を踏まえ、県政の重要課題を中心に活発な議論が交わされました。審査の過程において議論された主なものは、次のとおりです。

【財政改革】
財政改革の次期プランの目標についてただされ、知事から、臨時財政対策債も含めた県債残高の縮減に取り組んでいく必要があると考へ、プライマリーバランスの黒字化という目標設定について検討を進めていくとの答弁がありました。

【県と政令市の関係性】

福岡市とのトップ会談についてただされ、知事から、福岡市長とは必要に応じて個別具体的な案件について直接意見交換を行っており、トップ会談については、今後の状況を見ながら必要に応じて検討していききたいとの答弁がありました。

【空港問題】

福岡空港の民間委託先についてただされ、県は、福岡空港の運営業者は地元の意見を聞き、地域振興をその事業目的にすべきとの提言をしており、今後、県議会の意見も聞きながら総合的に検討していく必要があると考へているとの答弁がありました。

【環境政策】

特定外来生物ツマアカスズメバチの対策についてただされ、知事から、防除対策について国に強く要請するとともに、県民等への情報提供に努め、今後とも国や近隣県と連携して早期発見、早期駆除に取り組み、生息の拡大、定着の防止に努力していくとの答弁がありました。

また、海岸漂着物対策についてただされ、漂着物の状況や海岸の利用状況の変化などを把握し、地元市町の意見を聞いたうえで、重点区域の追加を含めた見直しを進めていききたいとの答弁がありました。

【飲酒運転撲滅】

飲酒運転撲滅に向けた取り組みについてただされ、飲酒運転撲滅の意識が県民にさらに浸透するよう、工夫を凝らしながら県民運動を推進していききたいとの答弁がありました。

【障害者支援】
重症心身障害児者の短期入所等についてただされ、老健施設を活用した短期入所を促進するとともに、重症心身障害児者の受け入れ態勢の拡充を関係機関に働きかけ、あわせて報酬体系の見直しを国に要請していききたいとの答弁がありました。

また、県のウェブサイトに「まごころ製品ショップ」についてただされ、参加事業所や掲載商品数を増やし、迅速な受注対応、サイトの充実により、より使いやすく信頼性の高いサイトにし、売り上げ向上、障害者の収入向上につなげていききたいとの答弁がありました。

【児童虐待】

児童虐待への対応についてただされ、児童相談所の専門性や虐待対応力を強化するとともに、市町村、警察、学校、医療機関等との連携を密にしていきたいとの答弁がありました。

【国際化への対応】

大規模コンベンション施設の整備についてただされ、知事から、大規模コンベンション施設は、我が国が世界、アジアの経済交流や情報発信の拠点として発展していく上で重要な社会資本であるとして考へているが、コストや稼働率の点などで様々な問題があることから、今までの研究会の成果を基に改めて検討したいとの答弁がありました。

【春日那珂川水道企業団の取水問題】

今後の対応についてただされ、知事から、河川法違反の状態を一刻も早く是正することが必要であり、企業団を厳しく指導していく一方、県として長期にわたり違法行為を見抜けなかったことを重く受け止め、チェック体制のあり方について検討を進めていくとともに、水道事業の場合には免除している占用料について、不正行為があった場合などには徴収可能とする条例改正を、2月議会にも提案できるよう準備を進めていくとの答弁がありました。

【メガソーラー設置に伴う問題】

メガソーラー設置に伴う乱開発についてただされ、知事から、太陽光発電などの再生可能エネルギーの推進に当たっては、国や地元市町村と連携、協力し、法律による各種規制を事業者が周知徹底し、これを遵守させるよう取り組んでいくとの答弁がありました。

【その他】

このほか、本県の防災対策、生涯



【農林水産政策】
農業農村整備事業についてただされ、知事から、今後とも国に対して必要な予算の確保について働きかけていくとともに、事業の再点検を行い、12月補正予算での県単独事業の措置についても検討を進めていききたいとの答弁がありました。

また、林業の活性化についてただされ、主伐の推進による県産材の供給の拡大と、需要の拡大を進め、本県の林業、林産業の活性化を図っていききたいとの答弁がありました。

さらに、TPP大筋合意に伴う本

【空き家対策】

総合的空き家対策についてただされ、高齢化や空き家の増加が進んでいる郊外団地の再生に、行政と民間業者や住民が連携して取り組んでいる宗像市の事例を、同じ問題を抱える地域の参考となるよう県内市町村に紹介していききたいとの答弁がありました。

【教育行政】

運動会での事故対策についてただされ、各学校が児童生徒の体力や経験の有無などを十分考慮するとともに、十分な事前練習、危険を予測した指導体制の整備など万全を期すことが重要であり、今後も事故防止に向けて指導を強化していききたいとの答弁がありました。

また、教員の不祥事防止についてただされ、問題の早期発見、早期対応さらには未然防止方を研究検討し、危機感を持って不祥事の再発防止に取り組んでいくとの答弁がありました。

【河川管理】

河川管理に係る国の交付金の減額への対応、除草予算の縮減等についてただされ、知事から、交付金事業で実施していた河川改修のうち緊急性を要するものについて県単独事業により実施していること、河川愛護団体等による除草活動を支援するなど地域の方との協働を推進するとともに、予算執行をより一層工夫し、適正な河川の維持管理を行っていききたいとの答弁がありました。

【空き家対策】

総合的空き家対策についてただされ、高齢化や空き家の増加が進んでいる郊外団地の再生に、行政と民間業者や住民が連携して取り組んでいる宗像市の事例を、同じ問題を抱える地域の参考となるよう県内市町村に紹介していききたいとの答弁がありました。



にわたる歯・口の健康づくり、スポーツを通じた地域活性化、北部九州の自動車産業の振興、商工会の組織体制の強化、義務教育における教育環境の整備、小学校における体力向上に向けた教員の資質向上、県設置の公立大学の改革、伝統工芸の支援と次世代への継承など多岐にわたって質疑がなされました。

質疑終了後、付託を受けた20件について採決を行い、いずれの議案も起立多数をもって認定、または原案可決及び認定すべきものと決しました。

決算特別委員会委員

- 幸敏久 三宏志 子成彦
- 正秀和 嘉康 誠 稔 雅 邦
- 尾川 明尾 中田 橋武
- 中塩 桐松 岳 原野 高吉
- 徹章 雅治 司 満 治 城 勝 利 子
- 木 統 大 公 勝 誠 一 正 勝 穂 子
- 佐松 十津 香 大 中 田 田 塚 菜 副
- 々々 中 田 原 村 辺 中 塚 高 副
- 雄 明 人 子 行 人 め 子 郎 嗣
- 邦 秀 道 沙 博 正 な 京 和 誠
- 加 地 中 口 大 島 伊 豆 上 谷 田 岐 河
- 樋 大 伊 井 守 堤 大 壹 小

(○は委員長、◎は委員)